自治医科大学附属病院　診療科別プログラム　フォーマット

初期研修医（ジュニアレジデント）		
1	診療科名	集中治療部
2	診療科紹介	自治医科大学集中治療部は、ICU内に常駐する集中治療専門医のグループが中心となって診療科の垣根を超えた治療を総括するclosed system ICUです。呼吸管理はもちろん、血液浄化を含めた循環管理や代謝・栄養管理、 感染管理など、集中治療部入室中に必要となるすべての処置を集中治療専門医の指導の下で研修することができます。
3	臨床研修指導医	布宮伸、小山寛介、方山真朱、藤内研、島惇、佐多奈歩、今長谷尚史
4	研修概要（特徴）	1～3ヶ月の研修が可能です。
5	研修内容（方略）	closed system ICU のチームの一員として、さまざまな症例の呼吸・循環管理や血液浄化，代謝・栄養管理，感染管理などを駆使した，診療経験ができる．
6	到達目標	(1)一般目標（GIO) 1) 集学的治療が必要な患者を適切に選定でき、重症度を適切に判定できる。 2) 重症度の判定の後、ICUに収容させるべきか否か判断ができる。 3) 単一臓器を対象とするのではなく、横断的・総合的な全身管理を基本とし、呼吸、循環、代謝・栄養、感染管理や血液浄化などを駆使した最先端の医療の実践を行うことができる． 4)専門医の下で，当直業務（月４～６回）も行い，緊急入室時の対処法を経験する．
		（2）個別目標（SBO) 1) ICU入室適応と退室基準について適切に判断できる。 2) ICU入室時の患者の重症度、不全臓器を適切に判断できる(APACHE II Score,SOFA Score)。 3) SIRS、Sepsis、Multiple Organ Failure(MOF)について病態・原因・治療法の新しい概念を説明でき、病態に応じた適切な治療を実践できる。特に、高メディエーター血症対策を指向した集学的治療の概念について理解し、治療計画を立案し実践できる。 4) 各種呼吸モードを把握し、病態に応じた人工呼吸管理、Weaning法が実践できる。 5) ARDSの病態、診断基準を正しく理解し、Lung Protective Strategyを実践できる。 6) 病態に応じた循環管理が適切に実践できる。
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	
7-2	月曜日（午後）	
7-3	火曜日（午前）	
7-4	火曜日（午後）	人工呼吸管理安全対策チームでの巡視（見学可能）
7-5	水曜日（午前）	抄読会
7-6	水曜日（午後）	退室症例カンファレンス、症例検討会
7-7	木曜日（午前）	教授カンファレンス
7-8	木曜日（午後）	
7-9	金曜日（午前）	
7-１０	金曜日（午後）	
8	経験できる症例	その内訳は、延べ入室日数の25%が予定手術後症例であり、 その他は、内科外科を含む緊急症例です。救急部、ＣＣＵ、ＰＩＣＵが満床、または重症であり集中治療の適応があればどのような症例も、入室対象症例となります。（ＩＣＵは最後の砦）
9	指導医からのメッセージ	入室症例での治療方針を決定するdecision-makingは、集中治療部医師にあり、やりがいが感じられないなどということはありません。むしろ、病院内の「最後の砦」的な責任感の方が大きく、それだけに無事に患者さんを一般病棟に退室させた時の満足感は言葉では言い尽くせないものがあります。